



すずかけ



秋田市立下新城小学校

学校教育目標

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもの育成
～ゆたかな子・かしこい子・たくましい子～

下小SDGs宣言 PART1

最近よく目や耳にする「SDGs」（持続可能な開発目標：17の目標と169のターゲット）ですが、新学習指導要領にも「持続可能な社会の創り手の育成」の理念が組み込まれていて、下新城小学校でも取り組んでいるところです。

4月30日（火）に、5年生の子どもたちと特別授業を行い、持続可能な社会について考えてみましたので、概要を紹介します。



単 元 名：「自然環境を守りながら生活を豊かにしよう」

SDGsとの関連：目標11.住み続けられるまちづくりを

目標12.つくる責任 つかう責任

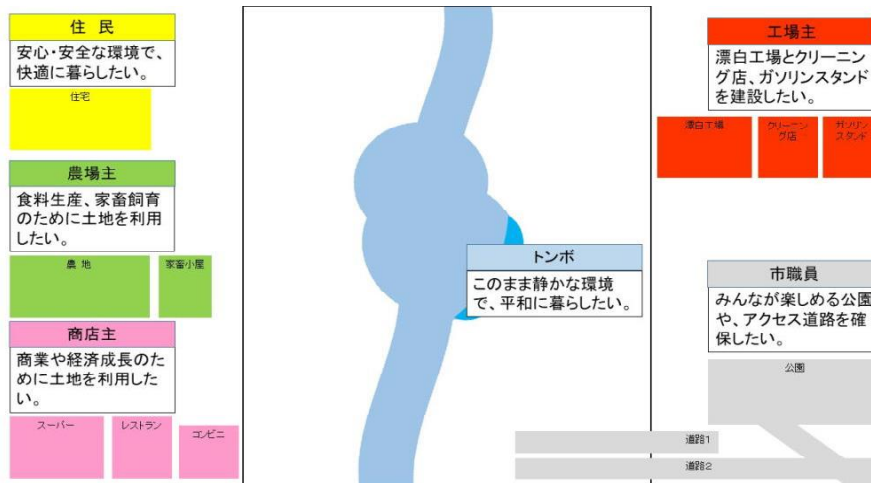
目標14.海の豊かさを守ろう

目標15.陸の豊かさを守ろう

目標16.平和と公平をすべての人に

目標17.パートナーシップで目標を達成しよう

本時のめあて：貴重なトンボ池を守りながら、豊かに生活するためのまちづくりを考えよう。



校長がD県の知事として、A市、B市、C市のみなさんにそれぞれの市のまちづくりをお願いするという形で授業を進めました。市の5人グループで役割を分担し、それぞれの立場の要望を出し合いながらも、トンボ池を守るという大前提で住宅地や農地、家畜小屋、スーパー、コンビニ、漂白工場、ガソリンスタンド、公園、道路などの配置を考えました。



次に、各市からのまちづくりの特徴や工夫したことを発表し合いました。同じような条件でも各市によってまちづくりに違いが見られながらも、環境に悪い影響を及ぼすような漂白工場やガソリンスタンドなどは、トンボ池から遠ざけていることや、川の下流に配置している傾向がありました。どの市においても、それぞれの立場で意見を出し合い、折り合いをつけてまちづくりを考えていくと、めあてである「環境を守りながら豊かな生活を送る」ことを実現できそうだと確認しました。その後、まとめとして、知事からA市、B市、C市の配置が横に並列してあるのではなく、一本の川でつながっていることを説明しました。子どもたちからは、「だめじゃん」、「トンボが死んじゃう」などのつぶやきが聞こえてきました。

SDGsの取組は、下新城小学校だけの問題ではありません。だからと言って他の人たちに任せてばかりではいけません。みんなで考え、折り合いをつけながら、自らアクションを起こしていく子どもたちを育てていきたいと考えています。以下に子どもたちの振り返りを紹介します。

- 〇私は、住民の生活を快適にすることしか考えていなかったの、これからは、どちらも快適に過ごすことができるよう考えたいです。（中川 綾乃さん）
- 〇トンボが住みやすい環境にするをやって、トンボを守ることで住宅やレストランをどこに置くかを迷いました。（秋山 陽葵さん）
- 〇工場やガソリンスタンドは危険で、トンボ池をこわしてしまいます。でも、いろいろなことを考えることができました。（伊藤 隆末さん）
- 〇トンボも住みやすいようにして、住民も住みやすいまちづくりをするにはどうすればよいかを、グループのみんなで考えました。みんなで手分けをしてどれをどんなふうに置くかをがんばりました。まちづくりは想像よりも大変だなと思いました。（宇佐美成菜さん）
- 〇ぼくたちは、環境に合わせてつくりました。つくっているときはどこに置いたらいいか分からなかったけれど、みんなで協力してつくったらうまくできました。（宇佐美涼翔さん）
- 〇上流に工場があると、山の方に近いからいいかなと思ったけれど、工場から危険な薬品が流れてきたらだめだから大変でした。こういうのを設計する人はすごいと思いました。もし、これを本当にやるとしたら、5年以上かかると思います。（柏谷和結子さん）
- 〇グループのみんなと一緒にどこに何を置くのかを考えるのが楽しかったです。（齊藤 優摯さん）
- 〇すずかけの最初、校長先生が「わたしはだれでしょうクイズ」で羽があるとのヒントで、オニヤンマだと分かったので楽しかったです。市を考えると、いろいろな考えを出してできました。（嵯峨 萼花さん）
- 〇みんなが住みやすい地域にするのは、そんなに簡単じゃないんだなあということが分かりました。これからそういうことを意識して生活していきたいです。（佐藤 新さん）
- 〇地域や環境を守り続けることや大事に思うことが大切なことだと、今日の勉強で学びました。（藤田 蓮さん）
- 〇トンボ池を守ることや人が住みやすい場所を知ることができてよかったです。これはどこに置けばいいかをみんなと話し合っ、住みやすいまちができてよかったです。（浜田 新太さん）
- 〇今日は、SDGsのことを知ることができてよかったです。それに、知事はいろいろ工夫しているんだなあと思いました。（中川 颯空さん）
- 〇この勉強で、市や県の人々がどのくらい考えているのかが分かりました。道路をどこに置くか、どことどこを離すかがとても難しかったです。でも、完成できてよかったです。（佐藤菜々佳さん）
- 〇みんなが望んでいる環境を全て整えるということは、とても難しいと感じた。自分には都合がよくても、相手には都合が悪くなる場合もあることが分かった。なので、自分の意見だけを通そうとするのではなく、他の人の意見も取り入れて考えるとよいと思った。（菅野 滯さん）
- 〇川の上流や下流も考えて置くのが難しかったです。みんなで話し合っ決めてるので、反対の人や賛成の人のいた中で、場所をずらしたらみんな賛成になったり、逆にすぐに決まったりしたのでよかったです。工場を上流に置いてしまったので、危ないと思いました。（三浦 蒼依さん）